

宗前山報

No. 12

慈音

【発行所】

宗前山 智光寺 長壽院

〒405-0074 笛吹市一宮町国分806-2

電話 0553(47)1629 FAX 0553(47)1629



福縁

国宝御影堂 平成大修理 落慶記念団体参拝

◆長寿院では今年、四年ごとの団体参拝旅行の年にあたります。幸いにして13年の歳月を経て、完成しました御影堂の落慶記念法要に当たります。

◆落慶法要期間は、今年の5月1日～10月15日です。この落慶記念にあわせて10月12日・13日の両日に知恩院参拝を計画しておりますので、檀信徒皆様にはまたとない機会ですのでご参加頂きますようご案内致します。
◆なお、くわしいことは3月のお彼岸後になります。



平成19年11月18日19日
参拝時の修理模様



大棟東瓦

大本山増上寺

令和二年度 御忌大法要



◆ 大本山増上寺では令和2年4月2日から7日までの6日間、御忌法要が行われます。御忌法要とは法然上人の亡くなった日を偲んで営む法要です。もともと命日の1月25日に法要を行っていましたが、明治10年から4月に変更になり、現在に至っています。

◆ 4月7日には御代理導師を山梨教区、甲府組、教安寺 高柳了志上人がお勤めになります。山梨教区にとっても希有の慶事であり、教区あげての支援を行うことになりま

した。長寿院でも7日の御忌法要に組割当人数の4名として現総代と前総代が参加します。



昨年の御忌法要

今年の主な行事

▼ 春の彼岸法要

・ 3月20日

・ 午後2時

▼ 法然上人ご生誕日

・ 4月7日

▼ 釈迦ご生誕日

・ 4月8日

・ 午前9時

▼ お盆

・ 8月13日～16日

▼ 秋の彼岸会法要

・ 9月22日

・ 午後2時

▼ 施餓鬼会法要

・ 11月8日

▼ 除夜の鐘

・ 12月31日

・ 午後11時30分



◆ 令和二年年回表

一周忌 平成三十一年

令和元年

三回忌 平成三十年

七回忌 平成二十六年

十三回忌 平成二十年

十七回忌 平成十六年

二十三回忌 平成十年

二十七回忌 平成六年

三十三回忌 昭和六十三年

年忌を迎えられる家は本堂内に掲示しています。

◆ ご法事のお申し込み

なるべく早めにお願ひします。

◆ お墓は大切なご先祖様が祭られている場所です。環境保全にご協力をお願いします。

●除夜の鐘

12月31日、恒例の「除夜の鐘」が行われました。

当日は午後11時30分から撞き始めました。参拝者は百八つの鐘にゆく年を振り返り、来る年に気持ちも新たにしました。今年はおかげさまで近年にない大勢の老若男女の参拝者にお出で頂きました。



◆ 寒山學校について ◆

境内奥に 1937（昭和12年）年に卒業生が建てた謝恩碑があります。碑の高さは2.9メートル、幅1.3メートル。扁額は浄土宗大本山増上寺大僧正大島徹水師撰文は東京柴山川崎三郎、碑文は祖洞林大済囑書撰

▼ 1991（平成3年）年には深山友雄氏が謝恩碑の和訳説明看板を寄付して頂いた。
以下は和訳文です。

身は方外に在りて学堂を創立し育英自ら任じて終始一のごとし 郷閭嚮化し以て文運を裨補す。 寒山前田定運師のごときは安

（謝恩碑と和訳説明板）



んぞその徳を揚して之を勒せざるを得んや 師は長州の人なり 明治四年三月十日を以て生まるる考 諱は兼藏妣は神出氏 師はその五男なり幼にして聡敏 出塵の志有なり 浄土宗長命寺前田慈仁を投りて出家す二十四年笈を負ひて東上し増上寺竟譽大僧正に従ひて宗戒兩脉を受く 師は自ら足ると為さず 哲学館に入りて発憤 講学内外諸典に洞通し その業をおへて大学得業士の号を得たり 嘗峽に遊び

永井誠本に師事す 推されて長寿院住職となり権大僧都に任ぜらる 是より先師は寒山学舎を興し子弟を薫陶す 遠邇より来たりて学ぶ者跡を絶たず 明治三十九年寒山学可を得て校舎を新設す。 大正二年第二校舎を増築し又女学校を創設し両学校校長を兼任す。 独力経営終始力をつくしとして僣まず 浄土宗管長孝譽大僧正之を聞き 学事奨励金を出し之を褒賞す 校友謝恩の会を設け金襴袈裟一領を贈る 昭和二年七月一日病に罹りて化す春秋五十七 師は天資敦厚嚴以て己を持し公以て事を處し子弟を導くに徳を以てす 流風馨るがごとく桃季こみちを成す 頃者門人たがい謀り碑を建てこれを

不朽に伝へんと欲し来たりて余に文ももとむ 固辞するも可ならず 乃ち之に繫ぐに銘を以てす
銘に曰く 蹇々躬を匪し 育英国に報ず 於戯若人 誰か徳を仰がざらん東京 柴山川崎三郎撰祖洞林大 澄囑
昭和十二年十月 寒山学 校卒業生有志一同



校舎